

コープの エシカル =Ethical=

それは誰かの笑顔につながるお買い物
2022



日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
メールアドレス: goods.kouhou@jccu.coop

- 商品の取り扱いには会員生協ごとに異なります。
- 掲載内容は発行時点の情報となります。

2022年3月制作



未来に向かうための目標



持続可能な開発目標 **SDGs**とは

今、私たちの地球・社会は、さまざまな問題を抱え危機にさらされています。

とり過ぎ…海と森の持続可能性の危機



世界の水産資源の約30%が「とり過ぎ」
水産資源は卵や子を生き繁殖するので、再生する量や速さを考えて利用すれば「持続可能」ですが、乱獲などを行えば資源は枯渇し、再生する力も失われます。



日本は紙を作るのも使うのも世界第3位。原料は海外の木材から
地球では森林が急速に失われています。1990年～2015年の間に約1億2,900万ヘクタールの森林が失われており、これは3.5秒ごとにサッカー場一面分の森林が減少していることになります。
※資料:FAO Global Forest Resources Assessment 2015より算出

捨て過ぎ…プラスチック問題



増加する使い捨てプラと海洋ごみ
環境中に流出したプラスチックのほとんどは最後に「海」に行きつきます。世界の海のプラごみは1億5,000万トンといわれ、さらに年間800万トンが新たに流入しています。
※ <https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3776.html>

出し過ぎ…CO₂排出による地球温暖化



温暖化が引き起こすさまざまな問題
地球温暖化は気温上昇のみならず地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こします。そして異常気象や海面上昇、干ばつによる食料不足などをもち、人間の生活(特に途上国)に大きな影響を与えます。

SDGsとは、これらの問題に対して今、全世界が取り組むべき課題として、2015年9月国連において採択された目標です。「誰一人取り残さない社会の実現」や「持続可能な地球環境」を目指し、将来にわたってこの地球上で人間らしく生活し続けるために必要な17の目標が掲げられています。生協ではSDGsの趣旨に賛同し目標の実現に貢献するため、2018年6月、日本生協連第68回通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コープSDGs行動宣言 — 私たちは、以下の7つの取り組みを通じて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます **12** つくる責任

健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます **3** すべての人に健康と福祉を

誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します **11** 住み続けられるまちづくりを



5 ジェンダー平等を實現しよう **ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します**

16 平和と公正をすべての人に **核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します**

1 貧困をなくそう **世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します**

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに **地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します**

13 気候変動に具体的な対策を **地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します**

エシカル消費はSDGsの達成手段!

～消費で変えられる未来～

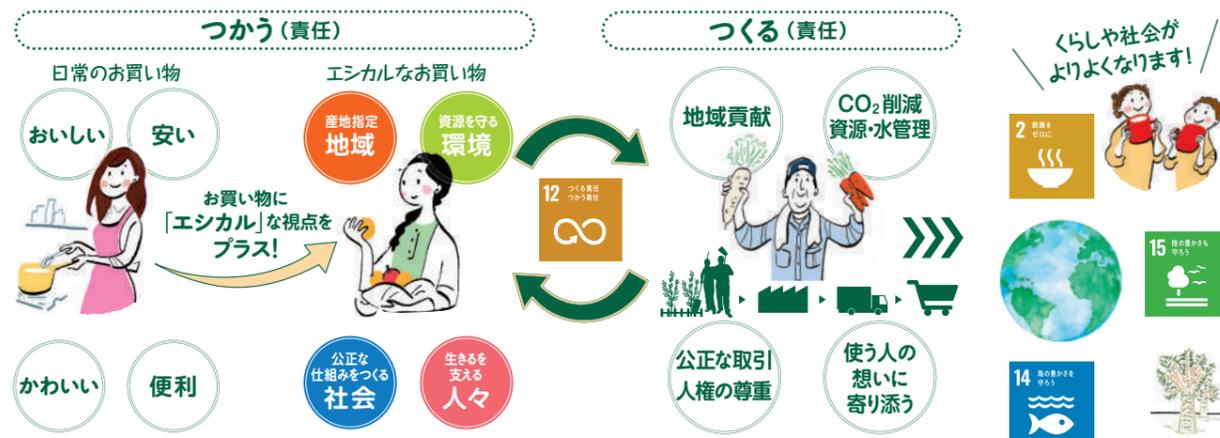
エシカル消費はSDGsの17の目標を
実現するための重要な手段の一つなのです。



エシカル消費とは?

エシカル消費とは、買い物をするとき自分視点だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。

「エシカル消費」とは、「誰かの笑顔につながるお買い物」



もし、大多数の消費者が「エシカル」な価値を求めようになったら…
提供する側も、「エシカル」な商品やサービスに変わっていきます

未来へ続く世界の実現のために私たち生協は、エシカル消費に積極的に取り組んでいきます。

CO・OP商品とエシカル

CO・OP商品は長い歴史の中でエシカル消費に向き合ってきました。

生協の歴史とエシカル消費

1969 環境に配慮した洗剤「セフター」発売



1970 産直の取り組み



1990

ステイオンタブ飲料缶発売



昔のプルタブ缶 現在のステイオンタブ缶

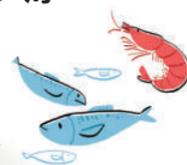
2010

CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクトスタート



そして今、CO・OP商品が取り組むエシカルの主なテーマは次の5つです。

1 海のエシカル



2 森のエシカル



3 プラスチック問題のエシカル



4 産地と生産者を応援するエシカル



5 一人ひとりが輝けるためのエシカル



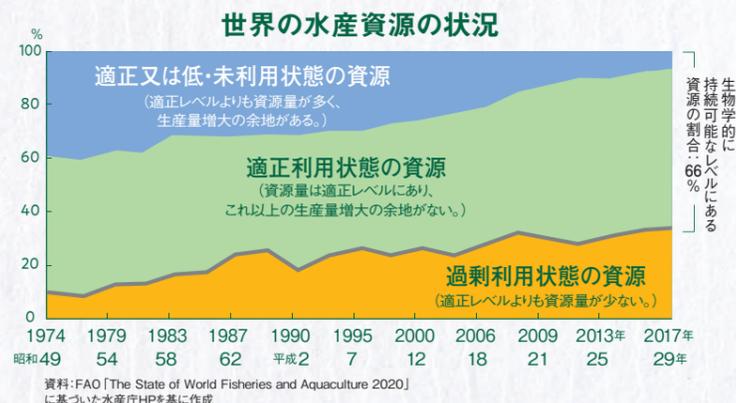
海の エシカル



海の恵みは私たちの毎日の食卓に欠かせません。その海の恵みを、未来の子どもたちまでつなげていくためのコブ商品の取り組みを紹介します。

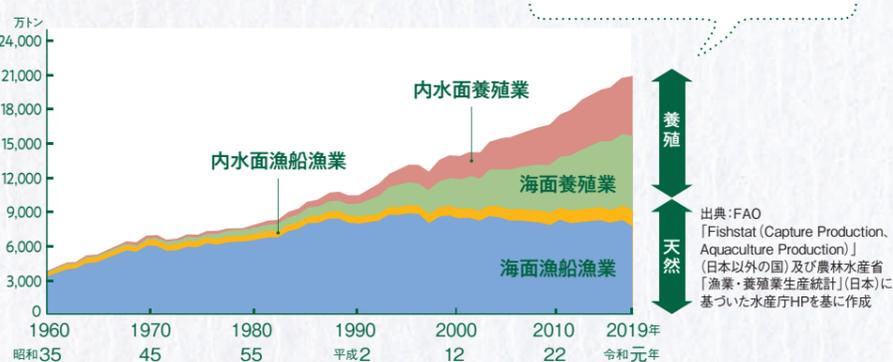
水産資源の問題

世界の水産資源の現状は、約30%が過剰利用、約60%がこれ以上漁獲を増やせない状態です。今後、水産物需要は、人口の増加、健康志向などにより増加すると予測されており、水産資源の減少が加速する可能性があります。



世界の漁業・養殖業生産量の推移

世界的には、養殖業生産量が伸長し、近年では漁船漁業生産量を上回りました。しかし、養殖業は、海洋および周辺の環境への影響や、エサとなる天然魚の資源への影響があります。養殖業に関わる人々の労働条件など、社会的な問題を抱えることもあります。



水産資源を守るには

1 漁業においては、魚をとりすぎないようにルールを定めしっかり守ること、海の環境を傷つけないようにすること

世界の取り組みの例

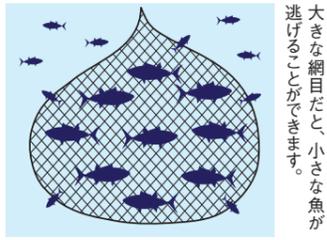
科学的な資源評価による漁獲の規制
資源量を維持するために、科学的な資源評価に基づいて、漁獲可能量を決定します。



禁漁海域の設定や混獲の抑制
産卵場周辺などの禁漁海域を設けます。目的外の魚や生物の「混獲」を監視するなどにより抑えます。



網目の規制
今後成長する魚を残せるように、網目の大きさに規制を設けます。



2 養殖業においては、エサとなる天然魚の持続的な利用や薬剤使用にも配慮して、水質や海洋環境への影響を抑えること

3 持続可能で適切に管理された水産物を、消費者が選ぶこと

MSCとは

海の恵みを未来に残す
漁期や漁獲量などを管理し、水産資源を守ります。

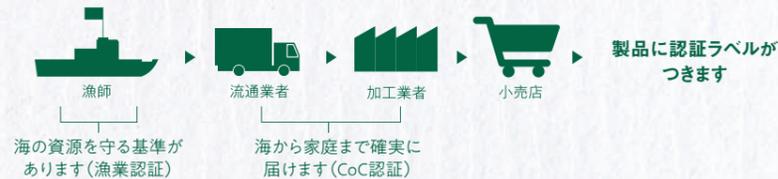


MSC認証
持続可能で適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベルです。



MSC (Marine Stewardship Council : 海洋管理協議会)は、水産資源を枯渇させないように、持続可能で環境に配慮した漁業とそうした漁業で獲られた水産製品の認証制度を推奨する非営利団体です。MSC「海のエコラベル」は、海や環境に配慮して獲られた水産物につけることができます。

MSC認証のしくみ



~CO・OP フィッシュソーセージ 原料・アラスカ産 スケソウダラの場合~



1
漁獲量は厳しく管理された上、海洋環境に与える影響を最小限にとどめる中層トロール漁法が採用されています。



2
工場ラインへの搬入は必ずオペレーターが立ち会い、魚種の混獲の有無などを確認します。



3
工場では認証水産物と非認証水産物を確実に分けて管理しています。



MELとは

日本の水産業と魚食文化の発展のために
海的环境や資源に優しい日本の水産物です。



マリン・エコラベル・ジャパン(MEL)は、日本発の水産エコラベルで、水産資源の持続性と環境に配慮している事業者(漁業・養殖業)を認証する制度です。漁業または養殖認証を受けた水産物は、流通・加工段階認証を受けた事業者によって、非認証の水産物と混ざることがないように管理・加工され、MELのロゴマークをつけて消費者に届けられます。



人気のふっくらしらす干しシリーズが MEL認証ロゴ付きで登場!

原料のカタクチイワシの稚魚(しらす)を漁獲する大阪府資源管理船びき委員会の瀬戸内海機船船びき網漁業(イワシ類)と、紀伊水道中央機船船曳組合の箕島シラス船曳き網漁業が、2020年にMEL漁業認証を取得しました。漁業者が資源評価や漁獲状況をもとに操業日や操業時間などのルールを決めて守ることで資源が管理され、近年の資源状態は安定しています。



食塩不使用
ふっくらしらす干し



ふっくらしらす干し
(減塩)



ふっくらしらす干し

パッケージは植物由来原料を一部使用したプラスチックを採用し、エコマークもついています!(2022年春切り替え)

ASCとは 環境や地域社会に配慮した養殖 責任ある養殖業への改善を進めます。

ASC (Aquaculture Stewardship Council: 水産養殖管理協議会) は、WWF (世界自然保護基金) と IDH (オランダの持続可能な貿易を推進する団体) の支援のもと、2010年に設立された、独立した国際的な非営利団体です。環

境と社会に配慮した責任ある養殖業を推進することを目的としています。



商品の一例
CO-OP 骨取りサーモンのカリッとソテー タルタルソース入り



CO-OP えびと北海道産ポテトの彩りバジルソース



責任ある養殖により生産された水産物
ASC-AQUA.ORG

ASC 認証



BAPとは 魚と人の未来のために 環境や社会にやさしい養殖水産物です。

BAP (Best Aquaculture Practices) 認証は、養殖水産物のふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての段階において環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食品安全を保証する認証制度です。



CO-OP スモークサーモン トラウト切り落とし



BAP 認証



インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクトとは 美味しいブラックタイガーをいつまでも食べられるように 環境と社会に配慮したエビ養殖業への改善を進めます。

日本生協連は、ブラックタイガーの主な産地であるインドネシアにおいて、2018年7月から2021年6月までの3年間、「スラウェシ島エビ養殖業改善プロジェクト」(第一期)を進めてきました。これは、日本生協連、WWF ジャパン、WWF インドネシアとBOMAR社(ブラックタイガー商品の主なメーカー)の協働により、環境と社会に配慮した責任ある養殖

業への転換の取り組みを支援するものです。2021年7月より第二期の「インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト」を開始し、第一期の活動の継続のほかに、MISAJA MITRA社(ジャワ島)とのブラックタイガー養殖業の改善、天然の親エビ資源の持続可能性を課題に加え、取り組みを拡大しています。



ブラックタイガー養殖業改善協力金とは?

上記の「エビ養殖業改善プロジェクト」に対して、コープのブラックタイガーを使用した商品の購入を通じて寄付をする取り組みが、2019年3月よりスタートしました。

1 粗放養殖マークのついたブラックタイガー商品を購入。



2 「ブラックタイガー養殖業改善協力金」として寄付。



3 寄付金は、以下のような活動に使われます。



養殖地周辺の環境改善を目指したマングローブの再生



エビ生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修



環境配慮型の養殖に必要な水質管理



森 は生物の大切な住み家であり、木材や食糧、水や空気など生物が生きるために欠かせない多くのものを与えてくれます。森を守り続けるためにできること、コープ商品を通じて一緒に考えてみませんか?

森林資源の問題

森林破壊、気候変動、生物多様性

ほぼ100年の間に人類は森林を急速に開発し、世界中で多くの森が失われてしまいました。森林を保全しながら、森からの恵みを持続可能な形で利用できる社会を目指すことが

大切です。このことは人間同様に森からの恵みを得ている生物たちの多様性を守り、ひいては地球温暖化などによる気候変動を抑えることにもつながっています。

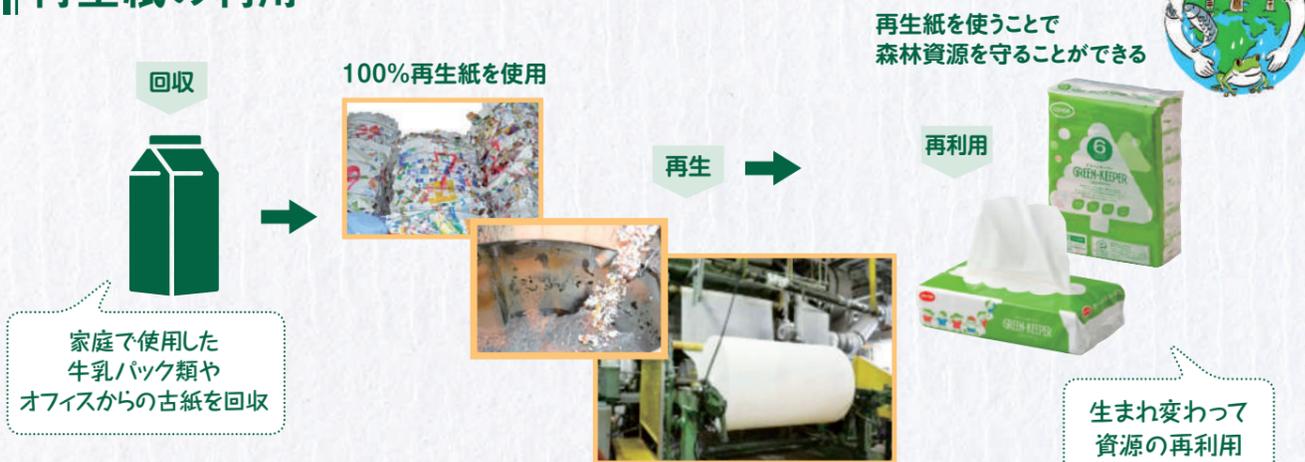


森林資源を守るには

- 1 森林の手入れ・植林、貴重な自然林の保護など、適切な管理を行うこと
- 2 貴重な紙資源を再利用すること
- 3 適切に管理された木材や再生紙で作られた製品を消費者が選ぶこと



再生紙の利用 CO-OP グリーンキーパーコンパクトの場合



FSC®とは

森の恵みを未来に残す

将来世代のために、森を大切にしてお手伝いをします。

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利団体で、国際的な森林認証制度を運営しています。FSC 認証は、適切に管理された認証林やその他責任を持って調達された原材料で作られた製品に、認証ラベルをつけて消費者に届ける仕組みです。



画像協力・日本テトラパック(株)



責任ある森林管理のマーク

FSC 認証

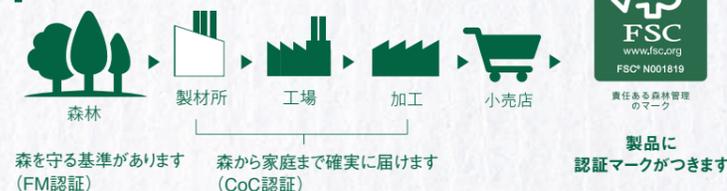
認証林からの木材および環境・社会的リスクの低い森林資源で作られた商品につけられる認証マークです。

12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

FSC 認証のしくみ



「FSC 認証」商品の拡大



紙容器がFSC認証品です



レインフォレスト・アライアンスとは

森林の自然環境を守り働く人を応援する

森林を守り、農園の労働環境の向上を目指します。

レインフォレスト・アライアンスは、ビジネス、農業、そして森林が交差する場所で活動する、国際的な非営利団体です。責任あるビジネスを新しい常識とすることで、人と自然にとってより良い未来を創ることを目指しています。



レインフォレスト・アライアンス認証

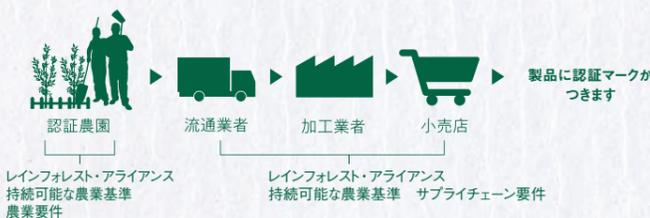
人と自然にとって、より良い未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマークです。詳しくは ra.org/ja をご覧ください。

12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

レインフォレスト・アライアンス認証は、より持続可能な農業に取り組む認証農園産の原料やその製品であることを意味します。



RSPOとは

「持続可能なパーム油」を目指して

私たちの生活を支えるパーム油の、持続可能な調達を応援します。

RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil: 持続可能なパーム油のための円卓会議) は持続可能なパーム油の生産・製造・流通・消費を目的とした非営利組織です。



12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

RSPO 認証

CO-OP商品では、パーム油原料のアブラヤシ産地で生じているさまざまな問題の解決を目指すRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。

パーム油とは

熱帯で育つアブラヤシの実から採れる油で、日本で使われる植物油の1/4がパーム油といわれています。

ポテトチップスやパン、即席めんなどの食品、石けん、洗剤、化粧品など、幅広く使われています。



パーム油の原料であるアブラヤシの生産をめぐる、さまざまな問題があります。

自然破壊・生態系の劣化
農園開発のための熱帯林伐採や焼失
野生動物や生物多様性への影響

環境汚染
土壌・水・大気
の汚染

労働問題
農園での劣悪な
労働環境や人権侵害

土地紛争
先住民族地域住民
への影響・負荷

パーム油のサプライチェーン



トレーサビリティシステム+サプライチェーン認証

※持続可能な生産が行われていることを認証しています(P&C認証) 搾油工場から家庭まで確実に届けます(SC認証)

サプライチェーン認証

© RSPO

麺フライ油・揚げ油にRSPO認証パーム油使用

(マスバランスオイル)

MB [マスバランス]

製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んでいますが、購入した認証油の数量は保証されています。



B&C [ブック&クリーム]
認証油を証券化して取引されるモデル。商品製造に利用されるのは非認証油ですが、証券購入代金を生産者に直接支払うため生産者の支援になります。



2022年秋変更予定。今後は食品のRSPO認証マーク付き商品も増えていきます。



コープの洗剤環境寄付キャンペーンとは

インドネシア各地の小規模パーム農園の持続可能な生産などを推進するプロジェクトを支援します。

日本生協連は、2018年から3年間、WWF ジャパンを通じ、インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農家などを支援してきました。生産性の低さに悩む小規模農家が、知識・資金不足により農園を拡大するため、さらなる森林破壊が危ぶまれています。そこで、小規模農家の組合を結成、適切な農園管理方法を学び、生産性を

を高める活動などを実施しました。2022年度から従来の小規模農家支援に加え、より広範囲で多くの農家がサステナブルな農業を営むようになり、熱帯林破壊が抑止できるよう、地方自治体への働きかけを強化します。また、この活動をインドネシアの他の地域へ広げていくことを目指します。



支援を通してできる活動の例

- 1 保全すべき森を住民で守るトレーニング
- 2 農家の生計が向上する仕組みづくり
- 3 地方自治体の政策策定支援

独立小規模農家と森林破壊のメカニズム



2022年度キャンペーン期間: 2022年5月21日~2023年5月20日(通年)



2021年までの3年間での成果

- 1 農家組合を結成**
西カリマンタン州メラウィ県初となる52世帯の小規模農家からなる農家組合を結成。
- 2 組合に対して研修を実施**
環境に配慮しつつ、収穫量を増やす持続可能な農業生産など20以上の研修を実施しました。
- 3 保護価値の高いエリアの特定と、「農園開発計画」の策定**
貴重な生態系のために保護する場所や、先住民や地域住民に必要な場所を整理しました。また、農業政策の基本方針となる農園開発計画を策定しました。
- 4 農業普及指導員の育成**
住民へ農業技術や経営のアドバイスができる「農業普及指導員」を育成し、3名から23名に増員。



2022年度より活動手法を拡大

小規模農家直接支援に加え、より多くの農家がサステナブルな農業を営み、熱帯林破壊が抑止できるよう、地方自治体への制度づくりの働きかけを強化していきます。



©生活協同組合コープ九州事業連合

プラスチック問題のエシカル



再生を待つ回収ペットボトル協力: 東京ペットボトルリサイクル(株)

プラスチックの「その後」が今、大きな課題となっています。便利のその先を見据え、プラスチックとどう向き合うか、コープ商品ではできることから取り組みを始めています。

プラスチックの環境問題

軽く丈夫で、コストが安く加工しやすい特徴を持つプラスチックは、自動車から医療機器、食品包材まで、あらゆるものに使われています。プラスチックは石油から作られ、燃やせば温室効果ガスである二酸化炭素を発生しています。私たちの暮らしの中にすっかり定着したプラスチックを削減することは簡単ではありませんが、地球環境の持続可能性を考えると、「脱プラスチック」社会へ向かっていく必要があります。また、プラスチックは分解性が低い

ため、自然界に放出されると川などを経て海に流れ込みます。海岸の景観を損ねるだけでなく、海洋生物が誤飲して死に至ることもあります。海中で紫外線や波の力で細かい破片になったマイクロプラスチックについても、生態系や人への健康影響があるかもし

れないとの研究が始まっています。2019年に大阪で開催されたG20サミットでは、2050年に海洋プラスチックごみの新たな汚染をゼロにすることを目指すことが参加国間で共有され、レジ袋の有料化などの方針が日本政府によって打ち出されました。

プラスチック包材は食品の保存性を高めるなどの大きな利便性があります。燃やせばCO2の増加に、捨てれば海洋プラスチックごみの原因に。

私たちの資源の環境利用(リサイクルなど)により、限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らすことが大切です。

プラスチック包材の環境問題に対応するには?

つくる側

リデュース 使用量削減

包材を「省く」(袋内のトレイをなくす)「小さくする」「薄くする」



リユース 繰り返し使用

洗剤・シャンプーなど、詰替用規格の配置



リサイクル 再資源化・再生

回収ペットボトルなど、再生資源を原料とする包材の利用を推進



バイオマス 植物由来素材利用

植物由来プラスチックの利用を推進



ただの炭酸水(天然水使用)



セフターENERGY(エナジー) 抗菌・防臭 詰替用 ※6月から順次切り替え



ビーフカレー 中辛



リッチブレンドレギュラーコーヒー

つかう側

リデュース 少なからず

ごみを減らす

- 洗剤やシャンプーは詰替用を選ぶ
- マイボトル・マイカップ・マイバッグを使用する
- 過剰包装を断ろう



再生原料を使用したエコバッグ ミニトート

リユース 再使用する

繰り返し使用する

- 修理して使う
- リユース食器を使用しよう
- 人に譲る

リサイクル 再生利用する

なるべく捨てない

- リサイクル品を買って資源を循環させよう
- リサイクルできるものは分別して出そう

プラスチックと賢く付き合ひましょう

コープの主力飲料2商品が



再生プラスチック100%ペットボトルになりました!

- ・「**CO-OP** 麦茶(国産六条大麦使用)600ml」
- ・「**CO-OP** ラベルのない麦茶(国産六条大麦使用)600ml×24本」

コープのペットボトル飲料の中で販売数量第2位(2020年度実績[※])となる麦茶飲料の容器を、再生プラスチックのペットボトルに切り替えました。

※「CO-OPラベルのない麦茶(国産六条大麦使用)600ml×24本」は2021年3月発売のため、「CO-OP麦茶(国産六条大麦使用)600ml」の2020年度実績値

石油由来
プラスチック使用量を削減

年間**665トン**[※]
の石油由来
プラスチックを
削減

※「CO-OP麦茶(国産六条大麦使用)600ml」の2020年度供給数32,448,704本、ペットボトル1本あたり20.5gで計算

再生プラスチックを使用した
ペットボトル飲料としてエコマーク認定を取得

エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>



CO-OP ラベルのない麦茶(国産六条大麦使用)600ml×24本 ※ケース販売品

人気のドレッシングのボトルが変わります!

- ・「**CO-OP** 野菜たっぷり和風ドレッシング」
- ・「**CO-OP** 深煎り胡麻ドレッシング」

植物由来**30%**の
ボトルに変更

※500mlだと6.9gの石油由来プラスチックの削減
エコマーク商品
植物由来30%のボトルに変更したことでエコマーク認定を取得

フィルムが薄くなります
50μm → 45μmへ
※年間約2トンのプラスチック削減

年間**51トン**[※]
の石油由来
プラスチックを
削減

※植物由来30%ボトルで49トン+フィルム薄肉化約2トン
※フンドーキン製造21品目年間830万本分で計算



CO-OP 野菜たっぷり和風ドレッシング ※5月から順次切り替え



CO-OP 深煎り胡麻ドレッシング ※6月から順次切り替え

人気の野菜果実飲料2商品の

包材をPETボトルから紙パックに変更しました!

- ・「**CO-OP** ミックスキャロット」
- ・「**CO-OP** 彩果菜園フルーティーアップル(一食分の野菜)」

紙パックにすることで
プラスチックを
年間約**34トン**削減

ミックスキャロット:約27トン
彩果菜園:約7トン*

※「CO-OPミックスキャロット 1000ml」:年間販売実績910,096本、ペットボトル1本あたり29.4gで計算。
「CO-OP彩果菜園フルーティーアップル(一食分の野菜) 1000ml」:年間販売実績248,082本、ペットボトル1本あたり29.5gで計算。
期間:2021年1月21日~2022年1月20日



いろんな工夫でプラスチック使用量を減らしています!

植物由来原料
プラスチックを
包材の一部に使用し、
包材の厚みを**20μm**
薄くしました



CO-OP 沖縄県伊平屋島産もずく

トレイを
なくしました
商品1個あたり
プラスチックを**10.4g**削減



CO-OP 国産素材の旨みがつまったニラ饅頭

外箱を
プラスチックから
紙箱に変更しました

リニューアル前
プラスチック
(PP)



リニューアル後
紙
(FSC)

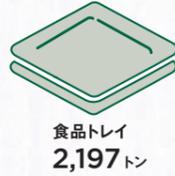


CO-OP UVサンヴェールプラスブライトアップ

TOPICS

全国の生協のリサイクル回収量 (2020年度)

全国の生協では組合員と共に早くから環境問題に取り組んでいます。例えば、世の中に先駆けて店舗利用の組合員にマイバッグ持参を呼びかけると共に、レジ袋の有料化にも率先して取り組み、使用削減を図ってきました。また、組合員の自主的な取り組みから始まったリサイクル活動も、ごみを削減し資源を有効活用することを目的に、多くの生協で実施されています。



COLUMN

エコマークとは 地球をきづかう

環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品に付けられるマークです。

エコマークは、公益財団法人日本環境協会が国際的な規格に基づいて運営し、さまざまな商品(製品およびサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられる環境ラベルです。



エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

【エコマーク商品例】

森

古紙パルプ

回収古紙や牛乳パック類より再生したリサイクルパルプを100%使用



CO-OP やわらかワンタッチ
コアノン シングル

プラスチック

再生プラスチック製品

回収したペットボトルなどを原料としてつくられたゴミ袋



CO-OP 再生原料使用
水切りゴミ袋
三角コーナー用

再生プラスチック容器

回収したペットボトルなどを原料のトレイ・ふたの一部に使用



CO-OP 無着色たらこ
(切子)

植物由来プラスチック包装

植物由来プラスチックをパッケージの一部に使用



CO-OP コーヒーバッグ
オリジナルブレンド

産地と生産者を
を応援する
エシカル



国内の生産は、後継者不足や気候変動の影響を受けながら生産を続けています。そして地域の生態系を守りながら生産をしている有機JAS。コープ商品を通じて産地と生産者を応援します。

国内 地域

産地指定・国産素材 | 日本の農畜水産業を応援

生産者と組合員をつなぎ、よりよい商品を届けます。

産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用した商品にマークをつけています。



1 産地(生産者または生産者団体)指定で栽培管理が明らか



2 産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる



3 産地とのコミュニケーションがとれる

被災地の生産者や地元の方々を応援する
「CO・OP三陸産茎わかめ」

「CO・OP三陸産茎わかめ」は、シャキシャキ、コリコリとした食感の三陸産の茎わかめを調味した、組合員に人気の商品です。2011年3月の東日本大震災の影響で一度は三陸産わかめの供給はストップしましたが、産地の復興が進んだことから2013年3月に復活を遂げました。

わかめ生産者の村上哲也さんは「震災でわかめの生産が駄目になり、息子は漁師を辞め関東で就職しました。ですが、わかめの生産が復活し、茎わかめの安定した供給が可能となり、息子も後を継ぐ予定です。仕事があれば地域の後継者育成も進むと思います」と話してくださいました。

CO-OP 北海道の
そのまま枝豆



岩手県大槌町にある工場では50人近くの地元の方々が働いています。



岩手県大船渡市でわかめを生産する村上哲也さん

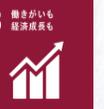
商品の一例



CO-OP 三陸産茎わかめ



CO-OP 三陸産茎わかめ
(梅しそ味)



国産素材

主要な原材料に国産素材を使用している商品にマークをつけています。組合員からのお問い合わせで多いのは「原料は国産ですか」というもの。「わかりやすいマークをつければ、国産原料を使った商品の利用が広がり、日本の農畜水産業を応援することができるのでは」とそんな想いを込めました。



国産フクユタカ大豆を使用



CO-OP 国産大豆の
無調整豆乳(フクユタカ)

国産大豆「フクユタカ」(遺伝子組み換えでない)から搾汁した豆乳です。国産大豆は、たんぱく質が豊富で、適度な甘味があるのが特徴。えぐみや豆くささの出やすい外国産大豆を使った市販品も多いなか、CO・OPでは、豆腐の素材としても使われる良質な大豆を選び、大豆の自然なおいしさを生かした豆乳を提供しています。



オーガニックとは

手間ひまから生まれる「安心」

環境への負荷を減らしたオーガニックな農産物からつくられました。



オーガニックとは「有機」や「有機栽培」のこと。農業や化学肥料に頼らずに土壌の力を生かし、環境の負荷をできるだけ少なくする農法のことです。コープ商品では、こうした「有機」の認証を受けた原料を使用した商品をオーガニックシリーズとしてご案内することで、手間ひまをかけて有機栽培に取り組む国内外の生産者を応援しています。

CO・OP有機栽培 ルイボスティーの産地

「赤い茂み」を意味するルイボスは、南アフリカの最南端・喜望峰の北360kmセダルバーグ山脈だけに生育する豆科の一種(学名:アスパラサスリネアリス)です。毎年種をまき、夏の時期に手摘みで収穫。有機JAS認定工場へ運び、カット、洗浄、水かけ後に発酵。南アフリカの強い太陽の光で乾燥させ、高圧蒸気で殺菌してお茶に加工しています。



オーガニック
(有機野菜)



CO-OP 有機栽培 ルイボスティー
(ティーバック)



栽培は農薬を使わず、またほとんどの作業は人の手で行われています。



厳しい気候の高山地帯に広がる茶畑。



ルイボスティー(アスパラサスリネアリス)の枝。先端の葉を摘み取りお茶にしています。

一人ひとりが輝けるためのエシカル



国内 人々

ピンクリボン運動とは

乳がんを悲しむ人をなくしたい
乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます。

日本生協連は、認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)の「ピンクリボン運動」に賛同し、2017年10月よりサポーターとなりました。キャンペーンを通して、乳がんの早期発見、早期治療の重要性や検診受診を推進する取り組みを応援していきます。



対象商品の一例



取り組み内容

- 1 対象商品いずれかを
お買い求めください
- 2 1品につき1円を
J.POSHへ寄付
- 3 乳がんに対する
啓発と患者や家族の
支援を進めます。

2021年度全国の生協での寄付金総額	
コープ化粧品	102万908円
くらしと生協	45万1,328円

障害者ノルディックスキー 応援キャンペーンとは

困難を乗り越え挑戦する人々を応援したい
「障害者ノルディックスキー」の日本ジュニアチームをサポートします。

2017年9月よりスタートした取り組みです。対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円が、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。



障害者ノルディックスキーチームとは

競技力の向上と、同競技の振興と普及を図ることを目的として活動する「日本障害者スキー連盟」のナショナルチームです。「障がいのある方や子どもたちに、クロスカントリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき冬も健康な体づくりを目指してほしい」という願いのもと、活動しています。



パラノルディックスキー日本チーム
荒井GMからメッセージ

寄付金は、これからクロスカントリースキーを始めた子どもたちへの支援と車椅子使用の子どもたちが乗る「シットスキー」の購入にも充てたいと考えています。障害があってもスキーや雪遊びする子どもたちの歓声が聞こえてきます!皆様の応援、心から感謝しております。



北海道でシットスキー体験会(2019年)

対象商品の一例



キャンペーン期間:2022年3月21日~2023年3月20日(通年)

取り組み内容

- 1 対象商品いずれかを
お買い求めください
- 2 1品につき1円を
日本障害者
スキー連盟に寄付
- 3 寄付金は「障害者ノルディックスキー
日本ジュニアチーム」の
活動資金として活用されます。

2021年度(2021年3月21日~2022年3月20日) 全国の生協での寄付金総額 2月度までの途中経過	
	54万1,064円

海外 社会

CO・OP×レッドカップ
キャンペーンとは

飢餓に苦しむ子どもたちに給食を
学校に行けば食べられる、学べる。



飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画



国連WFP協会とは

飢餓のない世界を目指し活動する国連機関の日本における民間窓口です。

2014年10月よりスタートした取り組みです。飢餓に苦しむ子どもたちに、学校給食を届けるため、国連WFP協会を通じて寄付をするキャンペーンです。

キャンペーン期間：2022年10月1日～11月10日(期間限定)



世界の飢餓問題について



世界には、すべての人が食べるのに十分な食糧があります。しかし現在、世界ではおよそ8億1,100万人、10人に1人が飢餓に苦しんでいます。

TOPICS

支援でできること

- 給食が食べられることで栄養が改善され就学率のアップにつながる
- 出席率が高い子どもたちには持ち帰り食料を支給。女子児童の就学率アップにつながる
- 学校給食の材料を地元の農家から調達することで農家への経営支援につながる
- 学力を身につけた子どもたちは、さまざまな未来を切り開いていく



2021年度の支援について

2021年2月の軍事政権発足以降、ミャンマーでは政治危機、貧困、避難民、新型コロナウイルスによる経済的影響によって、食料不安が急激に悪化しています。学校は各地で閉鎖が続きました。再開された学校でも、治安上の懸念や教員の停職などにより出席率は停滞しました。そのような中、国連WFPは子どもたちの健全な発育を支えるため、持ち帰り用の栄養強化ビスケットの配布や食料購入のための現金支援を行いました。少数ではありますが、調理された給食が提供された地域もありました。



Myanmar

ミャンマー連邦共和国ってどんな国

- 人口の24.8%が貧困ラインもしくはそれ以下で生活
- 5歳未満の子どもの29%が慢性的な栄養不良
- ASEAN諸国の中で、平均寿命が66.8歳と最も低い、子どもの死亡率が1,000人中62人と最も高い国
- 6カ月～1歳11カ月の子どもで、食事エネルギーの最低必要量を摂取できているのは16%のみ

対象商品の一例



CO-OP
コープヌードル
しょうゆ



CO-OP
コープヌードル
シーフード



CO-OP
コープクリーム
スープ・カップ



CO-OP
スープ
バラエティ
パック

取り組み内容

- 1 キャンペーン期間中対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき1円を国連WFP協会に寄付
- 3 飢餓に苦しむミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます

2021年度全国の生協での寄付金総額
437万8,061円
学校給食(1日約30円)を
およそ15万人へ届けることができました。

海外 社会

コアノンスマイルスクール
プロジェクトとは

アンゴラの学校づくりを支援する
楽しく学べる環境づくりに役立ちます。



2010年11月よりスタートした取り組みです。「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入いただくごとに1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付されます。



第12期
キャンペーン期間：2021年11月1日～2022年10月31日(通年)

アンゴラの子どもの状況

- 5歳未満児の死亡率
出生1,000人あたり75人
- 慢性的な栄養不良に苦しんでいる5歳未満児の割合
子どもの38%
- 教育を受けていない
5人に1人の子ども



出典：世界子供白書2021

取り組み内容

1 CO・OPコアノンシリーズいずれかをお買い求めください



2

1パックにつき1円をユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付

3

支援でできること



子どもたちが楽しく学べる環境づくり 安全な水の整備

対象商品の一例



第11期(2020年11月1日～2021年10月31日)
全国の生協での寄付金総額

1,239万9,480円

※日本生協連補填含む

第1期からの寄付金総額は
1億2,700万を超えました

フェアトレードとは

公正な取引で途上国の暮らしを支援する
公正な価格で取引されている商品です。

発展途上国の農産物や製品などを不当に安く買うのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア(公正)な価格」で継続的に輸入し消費する取り組みです。



途上国の生産者について

途上国の生産者の多くは情報や技術が少ないため、弱い立場におかれています。そのため苦しい生活からなかなか抜け出せません。

「最低基準価格」で生産者を守ります
「最低価格」とは、市場価格が下がっても、生産者から仕入れの際に保証している最低基準価格をいいます。生産コストをまかない、経済的・社会的・環境的に持続可能な生産と生活を支えます。



8 働きがいも経済成長も

12 つくも責任 つかう責任

フェアトレードプレミアム(奨励金)

商品の代金とは別に、組合や地域の発展・開発のために使われる資金です。生産設備の改善だけでなく、地域での病院や学校の設立、パソコンや教材の提供などに使われています。



商品の一例



CO-OP
フェアトレード
コーヒー
コロンビアブレンド
コーヒーバッグ



CO-OP
有機栽培フェア
トレードコーヒー
(グアテマラ
ブレンド)



CO-OP
フェアトレード
生産農園限定
セイロン紅茶

エシカル消費対応商品をもっと選びやすく! 「コープサステナブル」シリーズについて

「コープサステナブル」とは

認証マークの種類が増える中、共通のロゴマークをパッケージに表示し、組合員が売場で「見つけて選びやすく」しました。SDGs・エシカル消費の取り組みを一層発展させるため、「サステナブルな農林水産物および主原料がサステナブルな商品」を、「コープサステナブル」としました。

エシカル消費対応商品

コープサステナブル商品

サステナブルな原材料を主原料に使用

このロゴマークが目印! サステナブルな商品を選びやすく!

寄付金付き商品

パッケージや副原料に限って環境配慮した商品

取り組みの進展とともに認証マークもいろいろ...そこで、統一のロゴマークを付けました!

MSC認証
www.msc.org/jp
魚食の未来のために
msc.org/jp

ra.org/ja

3-0098-17-100-00

※現時点では、産地指定・国産素材・産直など生協独自のマークは含まれません。

テーマ別ロゴ

海の資源を守る

骨取り赤魚の煮付け(しょうゆ)

森の資源を守る

未晒し原料を再利用したトイレペーパー

Organic

有機栽培 ダージリンティーバッグ

4つ目のマークが新登場!!

リサイクル材使用

再生PET使用 つめかえボトル500ml用

※回収PETボトルを100%使用した共通ボトルが(ショップ・レジ・ホビー用)2022年3月に登場!

「海の資源を守る」「森の資源を守る」「オーガニック」「リサイクル材使用」4つのコープサステナブルテーマ別ロゴ

海の資源を守る

MSC認証
www.msc.org/jp
魚食の未来のために
msc.org/jp

責任ある養殖により生産された水産物
ASC-AQUA.ORG

森の資源を守る

FSC®
FGC-N001819
責任ある森林管理のマーク

ra.org/ja

3-0098-17-100-00

エコマーク商品
http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

Organic

リサイクル材使用

エコマーク商品
http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

※ロゴマークの下部にそのメッセージを表示します。

(注1) フェアトレード認証品は、左記認証マークとのダブル認証となっている場合、いずれかのテーマ別ロゴを使用します。
(注2) 以下の場合には、認証マーク付き商品でも「コープサステナブル」にはなりません。

①FSC、エコマーク...容器包装のみが認証を受けている場合。
②RSPO(MB)...副原料(3位以内5%以上に該当しない)に使用している場合。なお、マーガリン類については、油脂原材料の中で認証パーム油含有油脂が第1位ではなく補助的に使用されている場合も対象外とします。
③RSPO(B&C)...日本生協連基準の定める環境配慮マークに該当しないため対象外。

組合員の声とエシカル消費の取り組み

おいしい上に社会貢献ができる一石二鳥感があるから

自分の何気ない行動が「誰かの笑顔につながる」ことは、とても素敵だと思うから

自分や家族の笑顔、誰かの笑顔につながる生活をしたから

子どもと一緒に買い物をして、エコな商品を選ぶ力をつけさせる

組合員の声

使用していない電気、暖房は消す

プラスチック商品をなるべく減らし、リサイクルとして分別する

認証マークのついた商品意識してお買い物をする

地元の物や、フェアトレード商品を買うなど

エシカル消費で取り組んでいることは?

できるだけ大切な資源をムダ使しないで、エシカル消費を増やし、より楽しくまわりにも伝えていきたい

持続可能な社会につながる取り組みとして、私たちに何ができると思いますか?

コープ商品の2030年目標

日本生協連が2030年に向けた各原料資材など(農産、水産、紙・パルプ、パーム油、プラスチック、食品ロス)の持続可能な調達目標について定めたものです。

農産	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要な農産原材料の産地を指定した仕様指定商品および生鮮農産物について、GAPを導入した生産者からの調達構成比を100%とします。海外農産物はGFSI認証スキームのGAP、国内農産物は国際水準GAPとします。(2020年度進捗:62%[※]) <small>※農産部門海外農産物におけるGFSI認証スキームのGAP認証を取得した生産者からの調達構成比(金額ベース)</small> ■ 輸入生鮮農産物における有機JAS、レインフォレスト・アライアンス認証品の調達構成比を45%以上とします。(2020年度進捗:35%[※]) <small>※農産部門海外農産物における環境配慮商品(有機JAS/レインフォレスト・アライアンス)の供給高構成比(金額ベース)</small>
水産	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水産物を主原料とする仕様指定商品および生鮮水産物について、MSC/ASC認証商品の拡大を重点に、GSSIが認定した認証スキームによる認証品の供給額構成比を50%以上とします。(2020年度進捗:12.2% (MSC 10.6%、ASC 0.8%、MEL 0.8%)[※]) <small>※水産部門におけるMSC/ASCなどの水産認証商品の供給高構成比(金額ベース)</small>
紙・パルプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ コープ商品に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)の100%を再生原料または森林認証品による調達原料とします。(2020年度進捗:86.3%[※]) <small>※コープ商品全体に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)を再生原料使用またはFSC認証品の比率(重量ベース)</small>
パーム油	<ul style="list-style-type: none"> ■ コープ商品に使用するパーム油の100%を持続可能なパーム油認証品とし、そのうち50%以上を物理的認証油の調達とします。(2020年度進捗:100%を達成[※]) <small>※RSPO認証パーム油(B&CとMBの合計)を原料に使用した商品比率</small>
プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> ■ 容器包材のプラスチックを2016年対比25%削減します。 ■ 再生プラスチックと植物由来素材プラスチックの活用を進め、使用率を合計で50%以上とします。(2020年度進捗:包材に再生プラ・植物プラを使用した商品数 239品番)
食品ロス	<ul style="list-style-type: none"> ■ コープ商品に由来する食品廃棄物を2018年度比で50%以上削減します。(2020年度進捗:6月末算出予定)

詳しくはこちらへ <https://jccu.coop/jccu/sdgs/#anc01>

第3回「ジャパン・サステナブルシーフード・アワード」のリーダーシップ部門チャンピオンに選ばれました!

©TSS52021

2021年10月、サステナブル・シーフード(持続可能な水産物)の普及などに貢献したプロジェクトを表彰する第3回「ジャパン・サステナブルシーフード・アワード」において、日本生協連の「『コープサステナブル』海の資源を守る」シリーズ発売、及び「責任ある調達」への取り組みが、リーダーシップ部門のチャンピオンに選ばれました。明確な数値目標を策定し、進捗状況も公表している点、共通ロゴマークによる認知拡大などが評価されました。

20

21

私たちの身の周りにおけるコープのエシカル

CO-OP コープ商品のエシカル
生協のエシカル

エシカル消費
生協の専業・活動のエシカル

産地と生産者を応援するエシカル



CO-OP 産地指定

CO-OP 国産素材



産地	産品	産地	産品
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦
北海道	小麦	北海道	小麦

CO-OP 地産地消

CO-OP 産直

海のエシカル



CO-OP 環境配慮商品

CO-OP 寄付金付き商品
ブラックタイガー養殖業改善協力金



CO-OP 責任ある調達

エシカルな商品を選ぶ

エシカルな暮らし方を選ぶ



組合員

CO-OP 海や森を守る活動



エシカルな原料をより分かりやすく!



森のエシカル



プラスチックのエシカル



CO-OP リサイクル・省エネ

エコマーク商品



CO-OP 寄付金付き商品
洗剤環境寄付キャンペーン



協力：東京ペットボトルリサイクル(株)

CO-OP 被災地支援

CO-OP 食育

CO-OP 障がい者支援

CO-OP 寄付金付き商品
応援食クッキー
障害者ノルディックスキー
応援キャンペーン

CO-OP 寄付金付き商品
ピンクリボン運動



一人ひとりが輝けるためのエシカル



CO-OP 暮らしの助け合い活動



CO-OP 見守り



CO-OP 子育て支援

CO-OP 暮らしを考える取り組み



CO-OP 平和の取り組み



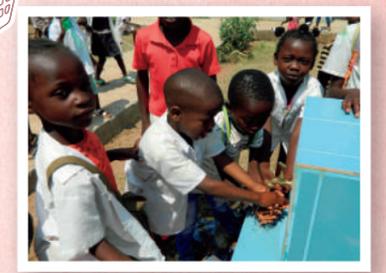
CO-OP 寄付金付き商品
CO-OP×レッドカップキャンペーン



CO-OP 国際支援



CO-OP 寄付金付き商品
コアノンスマイル
スクールプロジェクト



CO-OP フェアトレード

